

安岡正篤に 支えられた 人生

人生の師父……………

安岡正篤師の箴言を集めた『安岡正篤 人生信條』(致知出版社)が大きな反響を呼んでいる。それは多くの人が日本のこの混迷を憂え、指針となるものを求めているからにほかならない。すでに逝去して四半世紀以上たついまなお、人々の心を照らし続ける安岡師の教え。その啓発に尽力するご二男の正泰氏と、郷学研修所所長の荒井氏に、各々が受けた薫陶を交えながら、いま学ぶべきものについて語り合っていた。



安岡正篤

やすおか・まさひろ——明治31年大阪市生まれ。大正11年東京帝國大学法学部政治学科卒業。昭和12年財金鶏学院、6年日本農士学校を設立、東洋思想の研究と後進の育成に努める。戦後、24年師友会を設立、政財界のリーダーの啓発・教化に努め、その精神的支柱となる。その教えは人物学を中心として、今日なお日本の進むべき方向を示している。58年12月死去。

対談

郷学研修所
安岡正篤記念館理事長
安岡正泰

郷学研修所
安岡正篤記念館副理事長兼所長
荒井桂



やすおか・まさやす——昭和6年東京都生まれ。安岡正篤氏の二男。31年早稲田大学第一法学部卒業。日本通運入社。東北、関東地区の支店部長、本社広報部長などを経て、平成元年取締役就任。常務、中部支店長を歴任し、7年日本通運健康保険組合理事長、11年退任。現在、郷学研修所安岡正篤記念館理事長。著書に、『為政三書』に学ぶ(致知出版社)などがある。

あらい、かつら——昭和10年埼玉県生まれ。33年東京教育大学文学部卒業(東洋史学専攻)。以来40年間埼玉県において高校教育及び教育行政に従事。平成5年から10年まで埼玉県教育長。在任中、国の教育課程審議会委員及び経済審議会特別委員等を歴任。16年以來現職。著書に、『新・立志ノススメ』(邑心文庫)。

面授は
かなわなくとも

安岡 荒井さんとは、以前郷学研修所・安岡正篤記念館の所長を務めてくださったという関根茂章さん

の推薦で評議員になっていただいた時からのご縁でしたね。
荒井 はい。関根先生が小学生の時に、私の父が教師をしていたもので、私の父が恩師の息子ということですから、恩師の息子というこ

とでかわいがっていただいていたのです。
安岡 いまはその関根さんと同じ所長を荒井さんに務めていただいているわけですから、これもまた一つのご縁ですね。お引き受け

いただいたらもう……。
荒井 五年になります。またない機会を与えていただいて深く感謝しております。
安岡 所長というのはどなたでもよいというわけではありません。父・正篤が生前に説き続けた安岡